



台風襲来に備え、伝統的な水防工法を消防団員が学ぶ／ 龍ヶ崎市消防団による水防訓練を実施(6/16)

龍ヶ崎市消防団(団長:渡邊 孝・事務局:市防災安全課)では、出水期を前に水防訓練を令和6年6月16日(日)に龍ヶ崎市小貝川市民運動公園で実施します。

訓練では、雨台風の襲来により、小貝川上流では雨量100ミリ以上に達し、小貝川の水位は急激に上昇。天候回復後に、小貝川の堤防に漏水箇所を発見したことから、水防工法を行うため、龍ヶ崎市消防団に出動要請された想定で実施します。

出場要請された消防団員による、土のう作りをはじめ、伝統的な水防工法の訓練を実施予定。



▲過去の水防訓練での土のう作り

水防工法の中で最も基本となる重要な工法「積み土のう工」や、鋼杭と防水シートを用いる「改良積み土のう工」、さらには、堤防の漏水がある箇所に土のうを積み、拡大を防ぐための「月の輪工」など、様々な訓練に取り組みます。

なお、本市では、昨年6月2日から3日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線と台風第2号に伴う大雨により、牛久沼が越水し、大きな被害をもたらしました。

当時、本市消防団員約90名が排水作業や土のう積みなどの災害対応を行い、被害拡大防止のために尽力しました。

あれから1年が経とうとしていますが、本訓練は昨年以上の雨量を伴う台風が襲来しても対応ができるようにするために、団員の水防に関する知識及び技術の更なる向上を目的として実施するものです。

■日時	令和6年6月16日(日) 午前8時30分から午前11時まで(雨天決行)※・荒天は中止の場合あり
■場所	龍ヶ崎市小貝川市民運動公園 多目的広場(奥側) (所在地:龍ヶ崎市川原代町字関33番地1地先)
■主催	主催:龍ヶ崎市消防団 後援:稲敷広域消防本部 龍ヶ崎消防署
■参加者	龍ヶ崎市消防団員 約100名 龍ヶ崎消防署員 約10名

担当課

龍ヶ崎市 総務部 防災安全課 消防グループ
担当者:青山・田中(あおやま・たなか)
連絡先:0297-60-1514(直通)

訓練会場・駐車場 位置図

